



## 茨城の土木遺産

### 横利根閘門 (稲敷市)

大正10年 (1921年) 竣工

明治33年から始まった国の利根川改修事業の一環として、横利根川の利根川との合流点に建設された。我が国最大級の規模を誇るレンガ造りの閘門。横利根川と利根川のいずれの水位が高くとも船舶が航行できるよう、船舶を停船させる閘室の両端に内開きと外開きの二重の門扉を配置した複式閘門 (高さ 90.9m、幅 10.9m)。土木技術史上、我が国のレンガ造り閘門の一つの到達点を示す近代化遺産として平成12年、重要文化財に指定された。閘門の周辺はふるさと公園として憩いの場となっている。

#### 主な内容

- ▼ ウクライナへ人道的支援の義援金贈呈
- ▼ 左近の桜移植の支援で県知事から感謝状
- ▼ 理事会で令和4年度事業計画を決定
- ▼ 災害協定に基づく出動で補償保険に加入

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

**本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します**

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

## ウクライナの人々を人道的支援 本会が義援金を贈呈

本会は3月16日、激化している戦闘で大きな被害を受けているウクライナの人々を人道的に支援するため、義援金300万円をウクライナ大統領宛てに贈りました。

茨城県議会を訪れたコルスンスキー・セルギー駐日ウクライナ特命全権大使に対し、本会を代表して石津健光会長、細谷武史副会長、秋山光伯副会長が目録を手渡しました。

セルギー駐日特命全権大使は「ありがとうございます」と感謝の意を表しました。

義援金を贈ったことについて石津会長は「ウクライナにおける人道的支援のため、会員544社の総意で贈呈いたしました。一刻も早く事態が解決し、ウクライナや世界の人々に平穏な日々が訪れることを心よりお祈りいたします」と話しています。



石津会長（右から2人目）がコルスンスキー・セルギー駐日ウクライナ大使（右端）へ義援金目録を手渡しました

## 本会が「左近の桜」復活へ寄付

知事から感謝状が贈られました

本会は、水戸市の偕楽園で倒木してしまった「左近の桜」を復活させる寄付金を茨城県に贈呈し、大井川和彦知事から3月24日に感謝状が贈られました。

昭和38年に植樹された「左近の桜」は、令和元年9月9日の台風15号によって倒木しましたが、復活を目指して県が寄付を募集。本会も趣旨に賛同し、寄付を行いました。

寄付は合計186件、総額3,056万円。寄付金は左近の桜復活に係る植樹環境の整備などに活用されます。



本会を代表して石津会長（左）が大井川知事（右）からの感謝状を受け取りました

# 経営基盤強化し、地域社会に貢献

## 理事会 令和4年度事業計画が決定

本会の理事会が3月24日、水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催され、令和4年度の事業計画案を承認しました。令和4年度も生産性の向上や働き方改革、地域貢献活動、若年入職者の確保・育成などに取り組み、会員企業の経営基盤を強化し、地域社会に貢献していきます。

あいさつで石津健光会長は、新型コロナウイルス感染症防止対策と社会経済活動の両立への取り組みを訴えました。さらに原材料や燃料が値上がりし、ウクライナ侵攻による影

響も懸念されるなど業界の先行きが厳しい状況にあることを指摘。「年度末を迎えるが、事故防止、感染防止対策に万全を」と述べました。

議事では令和4年度の事業計画案および収支予算案を承認。

そのほか、定款の一部改正が承認されました。舗装部会を本会の部会として位置付けるとともに、建設未来協議会を青年部に、建女ひばり会を女性部にそれぞれ位置付けます。

また若手や女性の意見を本会の運営に反映させるため、建設未来協議会と建女ひばり会の正副会長を本会理事に登用することで理事定数を増員します。これらは通常総会に諮ります。

そのほかコナン開発(株)（関口修史代表取締役、竜ヶ崎支部）の新規入会を承認しました。



石津会長



令和4年度の事業計画などを審議しました

### 令和4年度 主な事業計画

#### 【経営基盤の強化および地域への貢献】

- ◆公共事業予算の安定的な確保・拡大へ要望活動
- ◆経営の改善へセミナーや講習会開催
- ◆地域貢献活動（災害時の応急対応、道路清掃活動など）
- ◆積極的な情報発信、建設フェスタの開催、防災訓練への参加など

#### 【人材確保・育成および働き方改革等】

- ◆建設現場見学会、インターンシップ、就職応援サイト等による情報発信、建設業合同企業説明会の開催、図画コンクール・フォトコンテストの開催、高校生の資格取得支援、新規入職者等に対する研修
- ◆働き方改革等へ毎月第1・第2・第3・第4土曜日を一斉休工
- ◆建設キャリアアップシステム（CCUS）への対応
- ◆労働災害防止対策の推進

## 加藤明良氏、足立敏之氏 参院選候補へ推薦状

本会は3月24日の理事会で、今夏の参議院議員通常選挙の茨城選挙区の候補者として加藤明良氏を推薦することを決定しました。加藤氏は現在、県議会議員（3期目）。

また参議院議員通常選挙で職域代表・比例区の候補者として足立敏之氏にも推薦状を手渡しました。足立氏は国土交通省勤務を経て、現在は参議院議員（1期目）。

推薦状は、それぞれ代理の方に手渡しました。



加藤明良氏への推薦状を石津会長（右）が手渡しました



足立敏之氏への推薦状を石津会長（右）が手渡しました

## 常設委員会・建女ひばり会 令和4年度事業計画

### 【経営企画委員会】（佐々木孝夫委員長）

- ①建設業のCSR促進と法令遵守の徹底
- ②入札契約制度改革への対応、改正品確法及びその運用指針等に関する提言、要望
- ③社会貢献活動及び積極的な広報活動の推進
- ④働き方改革の推進（週休2日制）
- ⑤経営改善に資する諸施策の推進（事業継続計画の普及促進、税制改正）
- ⑥建設キャリアアップシステムへの対応
- ⑦建設労働災害防止対策の推進
- ⑧新型コロナウイルス感染症対策
- ⑨発注機関及び関連団体等との意見交換

### 【土木委員会】（梅原基弘委員長）

- ①建設工事生産システム諸問題への取り組み
- ②建設技術者の個の資質向上への取り組み
- ③社会資本の維持管理分野等への取り組み
- ④公共調達制度等に関する調査・研究
- ⑤新たな施策に対する取り組み
- ⑥災害対応に係る体制の推進
- ⑦発注機関及び関連団体等との意見交換

### 【建築委員会】（沢畑正剛委員長）

- ①建築工事における安全施工確保への対応
- ②建設副産物の適正処理、建設リサイクルの推進
- ③建築工事における経営力強化、技術力向上
- ④発注機関及び関連団体等との意見交換
- ⑤建築CPDユニット（単位）付与の講習会及び研修会の開催
- ⑥耐震化及び免震化に関する対応
- ⑦BIM/CIM活用促進に向けた取り組み
- ⑧環境対応として建築工事のSDGs推進

### 【人財開発委員会】（高橋修一委員長）

- ①人材の確保・育成（若年入職者の確保・育成、働き方改革、女性活躍、外国人材受け入れ）
- ②雇用改善に関する勉強会・研修会等
- ③発注機関及び関連団体等との意見交換

### 【建女ひばり会】（柳瀬香織会長）

- ①女性活躍に関する広報活動
- ②現場見学会・視察の実施
- ③女性活躍に関する勉強会・研修会等の開催
- ④発注機関及び関連団体等との意見交換
- ⑤会員交流会の開催

## CCUSの活用推進

経営企画委員会



経営企画委員会（佐々木孝夫委員長）が3月7日に協会本部で開かれ、令和4年度の事業計画を協議しました。令和4年度も週休2日の推進へ月4回の公共工事一斉休工、建設キャリアアップシステム（CCUS）への対応などに取り組みます。あいさつで佐々木委員長は「来年度の事業計画などを協議していただく。積極的なご意見を」と述べました。

## 生産性向上へ県と意見交換

土木委員会



土木委員会（梅原基弘委員長）は3月8日、茨城県土木部検査指導課・監理課との意見交換会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。ICT活用促進工事や情報共有システムなどを協議し、生産性向上や働き方改革を推進することを確認しました。梅原委員長は「今後も県のご指導をいただきながら業界の発展に努めてまいります」とあいさつしました。

## 生産性向上へ研修を

建築委員会



建築委員会（沢畑正剛委員長）が3月15日に水戸市の協会本部で開かれ、令和4年度の事業計画などを協議しました。令和4年度も生産性の向上や働き方改革へ発注機関などとの意見交換会や講習会・研修会を開催するほか、BIM/CIMの活用を推進します。沢畑委員長は「週休2日制の推進など担い手の確保・育成へ向けた取り組みを進めていきたい」とあいさつしました。

## 若年入職の推進を

人財開発委員会



人財開発委員会（高橋修一委員長）が3月4日にWEB方式で開かれ、令和4年度の事業計画などを協議しました。4年度も若年入職者の確保・育成、働き方改革、女性活躍、外国人材の受け入れの取り組みを推進します。また雇用改善に関する勉強会・研修会の開催、発注機関や関連団体等との意見交換などにも取り組みます。高橋委員長は「これからも建設人財の確保・育成を推進していく」とあいさつしました。

## 建設業の魅力発信を

CCI茨城



本会や茨城県、建設業関係団体が設置している「茨城県魅力ある建設事業推進連絡会議（CCI茨城）」（委員長・石津健光本会会長）が3月24日に水戸市の県建設技術研修センターで開かれ、令和4年度の事業計画を決めました。4年度も建設体験学習や建設現場見学会・建設業インターンシップ、「建設フェスタ2022」などを予定。建設業の魅力発信を続けていきます。

## 保険・融資制度を推進

県建設業協同組合が理事会



茨城県建設業協同組合（石津健光理事長）は3月28日、理事会を水戸市の県建設技術研修センターで開催し、令和4年度（第52期）の事業計画案を了承しました。第52期も共済保険事業（生命共済制度、総合補償制度、損害保険制度）、県建設業振興資金事業、地域建設業経営強化融資事業を推進し、組合員の経営の安定と健全な発展に寄与していきます。

## 社会人として飛躍を

新規入職者研修会



本会は、会員企業の新規入職者を対象とする令和3年度の研修会を4月12日から3月14日まで6回、水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。参加した約100名は社会人の心構えを学び、建設業への理解を深めました。参加者からは「大変に有意義」の声がありました。なお令和4年度の新規入職者研修は4月8日から実施しています。

## 防災協定で出動の災害・事故補償 本会が保険に加入

本会では、会員企業が国や茨城県との防災協定に基づいて出動し、道路啓開や防疫作業等の支援活動中に発生したケガなどの業務災害、対人・対物事故などの第三者賠償について補償する保険に本年4月から加入しました。

この制度は、防災協定に基づき本会が派遣した会員企業や下請負人による事故が発生し、当該企業が賠償資力をもたないなどの場合、本会が賠償責任を負うものです。

この補償によりまして、会員企業の皆さまが防災協定に基づく作業に安心して取り組むことができる環境が整備され、賠償責任の負担が軽減されることとなります。

内容のお問い合わせは、本会本部まで（電話029-221-5126）。

# 一般管理費は68%に 県が低入調査基準を改定

## 低入札価格調査基準及び最低制限価格の設定方法

### 【改正後】

- 範囲 予定価格の7.5/10～9.2/10
- 計算式
  - ・直接工事費の97%
  - ・共通仮設費の90%
  - ・現場管理費の90%
  - ・一般管理費の68% の合計

茨城県は、建設工事の低入札価格調査基準および最低制限価格を改定し、一般管理費について55%から68%に引き上げました。中央公契連モデル改定に合わせての対応です。

# ICT土工の拡大へ 県が「簡単活用型」導入

茨城県はICT施工を促進するため、ICT土工で「チャレンジいばらき簡単活用型」を新設し、本年4月から導入しました。

簡単活用型は、詳細な3次起工測量は必要なく、「ICT施工」もしくは「3次元設計データ作成」と「出来形管理」が必須です。コストを抑えたICTの部分的な活用により実施を促します。

対象は3,000立方m未満の土工・作業土工(床掘)を含む工事。従来の「チャレンジいばらきII型」は1,000立方m以上3,000立方m未満が対象でしたが、土工量の下限を無くし、II型と簡単活用型を受注者が選択できます。

# 茨城県幹部職員 (建設関係部門)

令和4年4月1日現在

土木部	
職名	氏名
部長	たむら ひさし ● 田村 央
次長	まつやまかずのり 松山 和規
次長	はなりひでおみ 羽成 英臣 ●
都市局長	はやし としい 林 利家 ●
港湾振興監	はりかいまさゆき 針谷 雅幸 ●
監理課長	まいえかつひこ 眞家 勝彦
企画監	おおつかしゅうじ 大塚 秀二 ●
用地課長	ぎょうよしお 木内 良夫
技術管理統括監兼検査指導課長	さたけよしひと 佐竹 義人 ●
道路建設課長	やないかつひろ 矢内 勝浩 ●
高速道路対策室長	さかもとやすとし 坂本 泰敏 ●
道路維持課長	おおもり みつる 大森 満
道路保全強化推進室長	えびはらとおる 海老原 徹
災害・防災対策監兼河川課長	いしかわ あきら 石川 昭 ●
水防災・砂防対策室長	なるせまさかつ 成瀬 真勝 ●
港湾課長	やなおか たかし 柳岡 隆
営繕課長	きむらただお 木村 忠夫
都市計画課長	はすみふゆき 荷見 信之 ●
都市整備課長	うめざわのぶゆき 梅澤 信行 ●
市街地整備室長	たかの とおる 高野 亨
下水道課長	くりばやしゆんいち 栗林 俊一 ●
建築指導課長	やまだよういち 山田 陽一

住宅課長	おおもり さとし 大森 智
水戸土木事務所長	なまためよしみ 生田 目好美 ●
常陸大宮土木事務所長	わだこうぞう 和田 幸三 ●
大子工務所長	かねさわきみや 兼澤 公也 ●
潮来土木事務所長	かしわや さとる 柏谷 聡 ●
土浦土木事務所長	おおしいなおと 大石 直人
土浦土木事務所つくば支所長	たん まさし 丹 正史 ●
筑西土木事務所長	いのうえかずのり 井上和則 ●
常陸太田工事事務所長	きむらまさこ 木村 政美
高萩工事事務所長	おそのえみのる 小園 江美 ●
鉾田工事事務所長	あきやまふみあき 秋山 文昭 ●
圏央道沿線整備推進監兼電ヶ崎工事事務所長	ひるまほおさみ 蛭 町修身 ●
常総工事事務所長	さとうけいじ 佐藤 啓司 ●
境工事事務所長	のじまやすひさ 野島 泰久
茨城港湾事務所長	ねだのぶよし 根田 信義
茨城港湾事務所日立港区事業所長	ほんだ まこと 本多 誠 ●
茨城港湾事務所大洗港区事業所兼港湾整備課長	むらやまこうたろう 村山 幸太郎 ●
鹿島港湾事務所長兼保安調整監	じけよししげ 寺家 喜重
鹿島下水道事務所長	みつまた おさむ 光 又 修 ●
流域下水道事務所長	ながやまさきのぶ 長山 公信

農地局	
職名	氏名
農地局長	ぐんじ あきら 郡司 彰 ●

農村計画課長	こん とおる 金 徹
農地整備課長	わたなべくにお 渡辺 邦夫 ●
県央農林事務所土地改良部門長	やまふじいこ 山藤 郁夫
県北農林事務所土地改良部門長	おかべひろみち 岡部 弘道 ●
鹿行農林事務所土地改良部門長	さかいとしひろ 酒井 敏博
県南農林事務所土地改良部門長	くらもちあきひこ 倉持 明彦 ●
県西農林事務所土地改良部門長	さかばゆうじ 坂場 祐二 ●
高萩土地改良事務所長	おおうちまさみつ 大内 正光 ●
稲敷土地改良事務所長	くぼたよしひで 久保田 良英
境土地改良事務所長	ながせけいいち 永瀬 啓一

企業局	
職名	氏名
公営企業管理者企業局長	いのみしんじ 稲見 真二 ●
次長	くげよしかず 久家 良和 ●
危機管理対策監兼施設課長	ただひろゆき 高田 浩幸
総務課長	いしかわよしひさ 石川 善久 ●
業務課長	やまもとあきひろ 山本 晃裕 ●
県南水道事務所長	のなかしんいち 野中 伸一 ●
鹿行水道事務所長	たかほしひでお 高橋 英夫 ●
県西水道事務所長	はなだやすひで 花田 泰秀 ●
県中央水道事務所長	

●…新任。敬称略

## 土浦支部活動報告

## ASPなどで講習会

土浦支部（小林伸行支部長）は3月23日、ASP（工事情報共有化システム）や遠隔臨場の講習会を支部会館で行い、理解を深めました。

小林支部長は「新年度から全ての工事で情報共有システムを利用していく。ライブ配信も行っているので、講習を聞き、理解を深めてほしい」とあいさつ。

（株）現場サポートの古屋伸吾関東エリアリーダーが講師を務め、配信したライブ映像は約30人が視聴しました。



## 竜ヶ崎支部活動報告

## 遠隔臨場などを研修

竜ヶ崎支部（細谷武史支部長）は3月4日、茨城県竜ヶ崎工事事務所（生田目好美所長）と共に建設キャリアアップシステム（CCUS）や遠隔臨場の講習会を同事務所で開催。デモンストレーションなどを行い、理解を深めました。

細谷支部長は「事務所にしながら業務を進める対策などを取り入れることで、建設業の新たな3Kを目指していく。環境を整えることで少しでも多くの若者を育てていきたい」とあいさつしました。



## 会員の動向

## 〈新規入会〉

▽竜ヶ崎支部

コナン開発(株)

代表取締役 関口 修史 なおし

住所 〒301-0816 龍ヶ崎市大徳町6060

電話 0297-62-4213

## 〈代表者変更〉

▽鉾田支部

（株）内田建設 内田鑑子 → 山澤明子

## 本部事務局 異動

4月1日付

## 【新規採用】



業務課係員  
岡野真朋



業務課係員  
高中伊純

## 【昇任】

- ◆業務課長・金田将志
- ◆労務第二課長・鈴木勇児
- ◆労務第二課長心得・鈴木康弘